

# 第1回 阿賀野市総合計画審議会 議事概要

## 1 会議の概要

日 時：令和2年9月28日（月）午前10:00～12:00

場 所：阿賀野市役所 403 会議室

出席者：

### 【委員】

加藤（丈）委員、佐久間委員、桜井委員、佐々木委員、武田委員、  
永松委員、山崎委員

### 【市】

田中市長、  
菅原総務部長、米山民生部長、阿部産業建設部長、石原政策監、  
苅部市長政策・市民協働課長、権瓶公園管理事務所長  
事務局：企画財政課（大橋課長、中野係長、古田島主任、廣川主任、鈴木主任）

## 2 議事

- (1) 会長及び副会長の互選
- (2) 諮問書の交付について
- (3) 今年度の取組内容及び会議公開の取り扱いについて
- (4) 阿賀野市総合計画の進捗状況について（施策・基本事業評価の結果報告）
- (5) 地方創生関係交付金事業・地域再生計画事業の進捗状況について
- (6) 阿賀野市総合計画（次期基本計画）の策定方針等について

## 3 発言の内容（主な意見等（○：委員、●：市））

- (1) 会長及び副会長の互選  
→武田委員を会長に、桜井委員を副会長とすることを決定
- (2) 諮問書の交付について  
→田中市長より武田会長に対し諮問書を交付
- (3) 今年度の取組内容及び会議公開の取り扱いについて  
→今年度における審議会のスケジュール等について事務局より説明

#### (4) 阿賀野市総合計画の進捗状況について（施策・基本事業評価の結果報告）

##### 【観光の振興】

- コロナ禍の中で旅館利用客が減少している。阿賀野市の魅力のPRにもっと力を入れていただきたい。

##### 【人権を尊重するひとづくり】

- いじめの基本となっているのが差別や偏見である。子ども同士の問題については、学校教育でも取り組んでいる。大人側の人権を尊重する人づくりについては、市全体として取り組みを進めていってほしい。コロナ禍でもあるので、なおのことである。

##### 【学校教育の充実】

- 特別支援教育に関する児童が増えてきているが、もっと特別支援教育の重要性を知っていただきたい。学校教育と社会福祉（子育て包括支援センターなど）と連携して取り組んでいきたい。

##### 【地域医療体制の充実】

- 阿賀野市民病院には心療内科がない。特別支援教育には療育のシステムが重要だが、構築できていない。現状はほとんどの児童が市外の医院を利用しているが、市外の医院も患者が多く、気軽に相談できる状態ではない。教育と医療の連携は重要である。
- 以前から市民病院への心療内科の設置要望を受けているが、医師不足から実現していない。地域枠の定員を増やしてもらうよう県や大学に要望していきたいと考えている。（民生部長）

#### (5) 地方創生関係交付金事業・地域再生計画事業の進捗状況について

##### 【ハクチョウの湖「瓢湖」周辺魅力向上計画事業】

- コロナ禍でさらに落ち込みが激しくなると思うが、今後の対策は。
- 憩の家自体は目標に届いていないが、利用数は伸びてきており、コロナ禍の影響は僅かであると考えている。（公園管理事務所長）
- 瓢湖は良い観光資源である。コロナ禍の中では自然回帰の傾向がある。阿賀野市はこれからのライフスタイルに適していると思うので、そこをPRすべき。対象は団体ではなく、個人が良いのではないか。
- 近年は観光だけでなく、健康づくりの場としても活用されている。今後も様々な視点でのPRを検討していく。（公園管理事務所長）
- ターゲットを外ではなく地元に変え、フィールドワークなど教育の場にするなどしても良いのではないか。

【その他】

- 公園整備の関連となるが、道の駅整備予定地となりの籠尻川公園に危険な状態と  
感じられる場所がある。何かしら対応してもらいたい。
- 委員指摘のプレハブの状況については把握している。来年度に向けた予算要求と併  
せ対応を検討している。(公園管理事務所長)
  
- 法人化や農家の大規模化の影響により管理が非効率となる小規模な農地などは、耕  
作放棄地となる部分も少なからず増えてきている状況である。これらを活用できる  
ようにすることについて方向性を示してもらいたい。
- 圃場の整備等により少しでも耕作放棄面積が減少するようにしていきたいと考えて  
いる。(産業建設部長)

- (6) 阿賀野市総合計画(次期基本計画)の策定方針等について  
→事務局より次期基本計画の策定方針等について説明